

ニュースリリース

長崎市に BRAIS 開発拠点を開設

2019年8月7日

セイノーホールディングス株式会社
株式会社セイノー情報サービス

セイノーホールディングス株式会社（本社／岐阜県大垣市、社長／田口義隆）は、長崎市内に BRAIS(Big Data、Robot、AI、IoT、Sharing)の開発拠点を開設することになりましたのでお知らせします。本拠点は、セイノーグループの IT 企業である株式会社セイノー情報サービス（本社／岐阜県大垣市、社長／鳥居保徳）の新たな事業所と位置付け、BRAIS を活用したソリューションの開発を行います。

物流業界の人手不足は深刻化しており、いまや物流危機とまでいわれる状況にあります。セイノーグループでは、労働者やトラックなど限りあるリソースを最適化し、生産性を向上させることが課題解決に不可欠であると考え、リソースマッチングによる積載率の向上、ダイナミックプライシングによる荷量の平準化、ロボットの活用による業務の省人化などに取り組んでいます。これらの取り組みに欠かせないのが BRAIS であり、BRAIS を活用したソリューションの開発体制をさらに強化するため、本拠点を開設することになりました。2020年4月をめどにデポ(小規模拠点)を開設、その後、2021年10月の事業開始に合わせて正式拠点を開設する計画です。

本拠点の所在地となる長崎県は、県総出で IT 人材の育成に取り組んでいます。セイノーグループは、長崎県をはじめとした自治体や県内教育機関と連携し、高度 IT 人材の採用によって開発体制をさらに拡充して、社会課題の解決を目指していきます。

<拠点の概要>

名称：株式会社セイノー情報サービス 長崎ラボ(仮称)

所在地：長崎市内

開設時期：2020年4月(予定)

人員体制：5年後に社員20人

お問い合わせ先

株式会社セイノー情報サービス 総務部

TEL：0584-73-8888